

コメント

1. RSウイルス感染症

52人 (定点当り2.17人)と急増しています。年齢別では、0歳児18人、1歳児20人、2歳児5人となっており、2歳以下が83%を占めています。

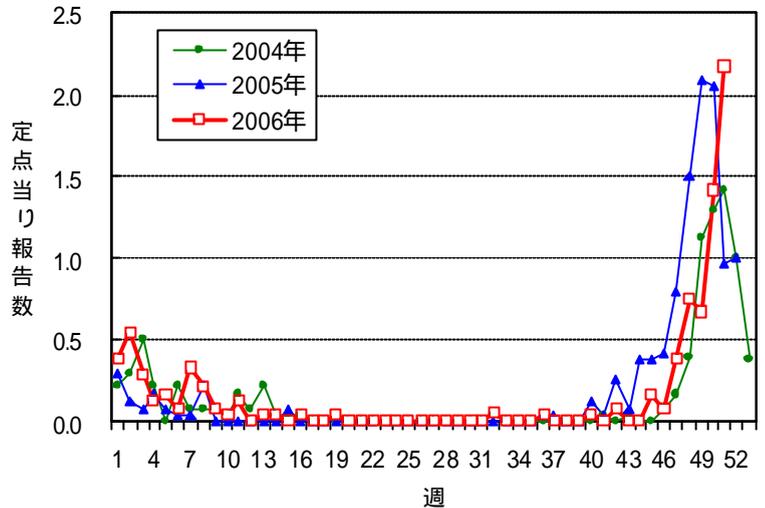
2. 感染性胃腸炎

定点当り16.5人とやや減少しています。第47週のピーク(定点当り23.3人)から減少傾向となっていますが、依然として多い状態が続いています。安芸区、安佐北区、東区で定点当り20人以上となっており、西区、佐伯区、中区で定点当り10人以上となっています。

3. インフルエンザ

14人 (定点当り0.38人)とやや減少しています。

RSウイルス感染症



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)平均	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)平均	発生記号
インフルエンザ(注2)	14	0.38	4.13	◇	麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.19		流行性耳下腺炎	7	0.29	1.87	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	1.58	◇	RSウイルス感染症	52	2.17		▲
感染性胃腸炎	397	16.54	19.40	◇	急性出血性結膜炎	-	-	0.08	
水痘	54	2.25	3.58	◇	流行性角結膜炎	5	0.63	0.98	
手足口病	2	0.08	0.48		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	9	0.38	0.13		無菌性髄膜炎	-	-	0.08	
突発性発疹	6	0.25	0.80		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.34	
百日咳	-	-	0.06		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.03						

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.15~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	アメーバ赤痢	1	4	男性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

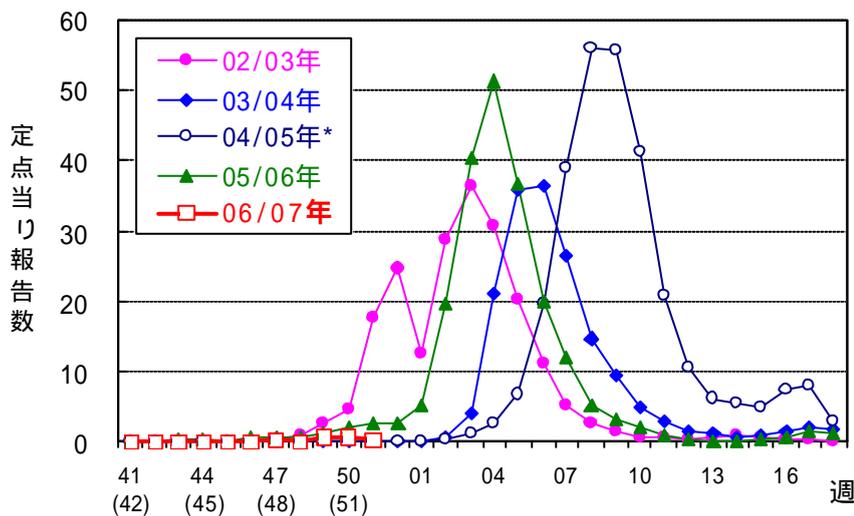
報告数	定点当り	全国	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
			第47週	6	0.16	6	1.42	23.25	1.17	0.25	0.04	0.29	0.08	0.04	0.04	-	0.17	0.38	-	0.63	-	-	-
第48週	4	0.11	11	1.79	20.08	2.83	-	0.08	0.50	-	-	0.04	-	0.08	0.75	0.13	0.38	0.14	-	-	0.29	-	-
第49週	19	0.51	8	1.83	19.58	1.54	0.04	0.04	0.54	-	-	-	-	0.13	0.67	-	0.75	0.14	-	-	1.43	-	-
第50週	19	0.51	14	2.25	18.58	2.25	0.08	0.50	0.71	0.04	-	-	-	0.25	1.42	-	0.88	-	0.14	0.86	-	-	-
第51週	14	0.38	14	1.71	16.54	2.25	0.08	0.38	0.25	-	-	-	-	0.29	2.17	-	0.63	-	-	0.43	-	-	-
第49週	0.15	0.48	2.14	22.16	1.89	0.54	0.39	0.59	-	-	0.03	-	0.91	0.03	0.67	0.03	0.67	0.03	0.04	0.57	0.02	-	-
第50週	0.21	0.56	2.45	22.81	2.43	0.46	0.40	0.60	0.01	-	0.03	-	0.90	0.03	0.68	0.01	0.68	0.01	0.03	0.64	0.01	-	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
RSウイルス感染症	0	女	2006/11/18	鼻汁(拭い液)	RS ウイルス
感染性胃腸炎	1	女	2006/11/06	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	0	男	2006/11/07	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	5	女	2006/11/13	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	女	2006/11/14	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	0	女	2006/11/15	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	2	女	2006/11/20	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	5	男	不明	糞便	ノロウイルスG2群
急性脳炎(疑)	1	男	2006/11/14	糞便	ノロウイルスG2群

【参考】広島市におけるインフルエンザの発生動向



*のシーズンは、第53週までであるため、グラフでは()の週に対応している。

昨シーズンは、12月初旬の第49週には流行開始の目安である定点当り1.00人を超えました。

今シーズンは、第44週(10月30日～11月5日)に、初めての報告があり、その後少数の報告が続いていますが、第51週の時点で定点当り0.38人にとどまっています。

しかし、年末年始には帰省や初詣など、人の多く集まる場所に出かける機会が多くなると考えられますので、手洗いやうがい、外出時のマスクの着用など予防に心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第51週(12月18日～12月24日)